2026年12月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年８月13日

上場会社名　大幸薬品株式会社　上場取引所　東
コード番号　4574　ＵＲＬ　https://www.seirogan.co.jp
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）柴田　高
問合せ先責任者　（役職名）コーポレート本部　経理部長　（氏名）中條　亨　ＭＡＩＬ　ir@seirogan.co.jp
半期報告書提出予定日　2026年８月13日　配当支払開始予定日　－
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　：有　（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年１月１日～2026年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期中間期	2,636	9.3	17	△63.4	41	101.4	44	△84.1
2025年12月期中間期	2,412	△15.7	46	△90.3	20	△96.1	279	△63.4

（注）包括利益　2026年12月期中間期　56百万円　（－%）　2025年12月期中間期　△32百万円　（－%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期中間期	0.89	－
2025年12月期中間期	5.57	－

（注）１.2025年12月期中間期の潜在株式調整後１株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
２.2026年12月期中間期の潜在株式調整後１株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期中間期	11,091	8,425	76.0
2025年12月期	12,270	8,518	69.4

（参考）自己資本　2026年12月期中間期　8,425百万円　2025年12月期　8,518百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	－	0.00	－	3.30	3.30
2026年12月期	－	0.00			
2026年12月期(予想)			－	3.50	3.50

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,200	12.5	500	8.9	520	7.7	550	△40.4	10.95

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無

②　①以外の会計方針の変更　：無

③　会計上の見積りの変更　：無

④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期中間期	50,636,900株	2025年12月期	50,636,900株
②　期末自己株式数	2026年12月期中間期	328,819株	2025年12月期	385,713株
③　期中平均株式数（中間期）	2026年12月期中間期	50,279,634株	2025年12月期中間期	50,222,449株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料Ｐ．４「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はＴＤｎｅｔで開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）中間連結貸借対照表 …… 5
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 7
中間連結損益計算書 …… 7
中間連結包括利益計算書 …… 8
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（セグメント情報等の注記） …… 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や個人消費の持ち直しの動き等により、国内景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、中東情勢の影響や継続的な物価の上昇、金融資本市場の変動の影響等、依然として景気の見通しは不透明な状況が続いております。

このような中、当社グループは中期経営計画（2026年-2028年）の初年度として、「医薬品事業への投資集中」等の重点施策を推進してまいりました。医薬品事業においては、供給課題が継続している「正露丸」について、生産性の改善に向けた設備更新等を進めた結果、一部製品においてリードタイムの短縮を実現いたしました。供給課題の解消には引き続き取り組む必要があるものの、下期以降の生産性改善に向けた取り組みは、概ね計画どおりに進捗しております。また、販売面では、中国、香港及び台湾等を中心に海外向け販売が伸長するとともに、海外市場における販売拡大に向けて広告宣伝費を増額し、マーケティング施策を展開してまいりました。国内医薬品事業につきましては、販売が低調ではあるものの、夏季の需要期に合わせたマーケティング施策を実施する方針であります。感染管理事業では、着実な黒字化に向けて収益改善を継続するとともに、業務用領域における増収を目指し営業活動を進めてまいりました。

これらの結果、当中間連結会計期間の売上高につきましては、前年同期比9.3％増の2,636百万円となりました。売上総利益につきましては、前年同期比1.4％増の1,339百万円となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、主に医薬品事業において海外市場におけるマーケティング施策を実施したことに伴う広告宣伝費の増加等により、前年同期比3.8％増の1,321百万円となりました。売上総利益は増加したものの、販売費及び一般管理費の増加額がこれを上回ったことから、営業利益は前年同期比63.4％減の17百万円となりました。

経常利益は、前年同期に計上した為替差損が当中間連結会計期間には発生しなかったことに加え、受取利息及び為替差益を計上したこと等により、前年同期比101.4％増の41百万円となりました。また、親会社株主に帰属する中間純利益につきましては、前年同期に投資有価証券売却益347百万円及び受取補償金14百万円を特別利益に計上した反動等により、前年同期比84.1％減の44百万円となりました。

セグメント別の経営成績につきましては以下のとおりであります。

（医薬品事業）

医薬品事業につきましては、国内市場における市場規模が前年同期比で94.9％と低調に推移しました。「正露丸」の供給不足や、競合他社製品の供給再開、インバウンド需要の減少など複合的な要因により全般的に売上は伸び悩みました。この結果、国内向けの医薬品売上高につきましては、前年同期比16.9％減の1,410百万円となりました。

一方、海外向けにつきましては、中国・香港市場及び台湾市場への出荷数量増加により前年同期比118.7％増の1,112百万円となりました。

これらの結果、医薬品事業につきましては、前年同期比14.3％増の2,523百万円の売上高となりました。また、セグメント利益につきましては、海外市場における販売拡大に向けた広告宣伝費の増加により、前年同期比7.3％減の557百万円となりました。

・外部顧客への売上高の内訳（医薬品事業）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年６月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年６月30日）
国内	1,697	1,410
海外	508	1,112
合計	2,206	2,523

（感染管理事業）

感染管理事業につきましては、前年同期はインフルエンザ流行の影響により需要が高かったものの、当中間連結会計期間においてはその影響がなく、売上は前年同期比で減少いたしました。しかし、効果的なマーケティング費用の投下等コストコントロールに努め、収益性の改善に取り組んでまいりました。

これらの結果、売上高は前年同期比45.4％減の111百万円となりましたが、セグメント損失につきましては、広告宣伝費の減額等により、前年同期比で59百万円改善し92百万円となりました。

・外部顧客への売上高の内訳（感染管理事業）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年６月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年６月30日）
国内：一般用	96	16
国内：業務用	85	77
海外	21	17
合計	203	111

（その他事業）

その他事業につきましては、主に木酢液を配合した入浴液や園芸用木酢液等の製造販売を行い、売上高は２百万円、セグメント損失につきましては14百万円となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

①財政状態

当中間連結会計期間末における資産合計は11,091百万円（前連結会計年度末比1,178百万円減）となりました。また、負債合計は2,666百万円（同1,086百万円減）、純資産合計は8,425百万円（同92百万円減）となりました。前連結会計年度末からの主な変動要因は、現金及び預金や売掛金の減少等による流動資産1,234百万円の減少、１年内返済予定の長期借入金や未払金、賞与引当金の減少等による流動負債1,105百万円の減少、配当金の支払等による利益剰余金の減少等に伴う純資産92百万円の減少等であります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）が前連結会計年度末より1,589百万円減少し、当中間連結会計期間末残高は、2,666百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は66百万円（前年同期は61百万円の獲得）となりました。主に棚卸資産の増加286百万円、未払金の減少296百万円、賞与引当金の減少132百万円、未払費用の減少120百万円等の減少要因の一方で、売上債権の減少534百万円、減価償却費148百万円等の増加要因によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は685百万円（前年同期は295百万円の獲得）となりました。主に定期預金の預入による支出500百万円及び有形固定資産の取得による支出184百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は853百万円（前年同期は684百万円の使用）となりました。主に長期借入金の返済による支出673百万円、配当金の支払額165百万円及びリース債務の返済による支出16百万円等によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

　中東情勢は依然として流動的であり、資材価格の上昇や調達遅延等が今後の生産および業績に影響を及ぼす可能性があります。一方、当中間連結会計期間までの業績および足元の資材調達・生産状況を踏まえ、現時点では通期業績予想を修正すべき重要な影響は見込んでおりません。このため、連結業績予想につきましては、2026年２月13日に公表いたしました予想値から変更はありません。業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年６月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,256	2,666
電子記録債権	1	0
売掛金	2,449	1,934
有価証券	－	500
商品及び製品	309	459
仕掛品	801	868
原材料及び貯蔵品	508	577
その他	106	190
流動資産合計	8,433	7,198
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	898	866
機械装置及び運搬具（純額）	545	533
土地	1,675	1,675
建設仮勘定	45	89
その他（純額）	145	190
有形固定資産合計	3,312	3,354
無形固定資産	34	36
投資その他の資産		
投資有価証券	0	0
その他	490	501
投資その他の資産合計	490	502
固定資産合計	3,837	3,893
資産合計	12,270	11,091

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年６月30日)
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	154	116
買掛金	268	365
１年内返済予定の長期借入金	792	119
未払金	668	353
未払法人税等	15	28
返金負債	60	52
賞与引当金	247	115
転貸損失引当金	11	10
その他	290	241
流動負債合計	2,509	1,404
固定負債		
長期未払金	549	549
転貸損失引当金	4	－
退職給付に係る負債	623	638
資産除去債務	20	20
その他	43	53
固定負債合計	1,242	1,261
負債合計	3,752	2,666
純資産の部		
株主資本		
資本金	10	10
資本剰余金	4,978	4,960
利益剰余金	3,450	3,328
自己株式	△237	△202
株主資本合計	8,200	8,096
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	317	329
その他の包括利益累計額合計	317	329
純資産合計	8,518	8,425
負債純資産合計	12,270	11,091

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年６月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年６月30日）
売上高	2,412	2,636
売上原価	1,091	1,297
売上総利益	1,320	1,339
販売費及び一般管理費	1,273	1,321
営業利益	46	17
営業外収益		
受取利息	7	12
為替差益	－	10
その他	5	3
営業外収益合計	12	27
営業外費用		
支払利息	3	1
為替差損	30	－
その他	5	1
営業外費用合計	39	2
経常利益	20	41
特別利益		
投資有価証券売却益	347	－
受取補償金	14	－
特別利益合計	361	－
特別損失		
減損損失	0	－
固定資産除却損	－	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前中間純利益	382	40
法人税、住民税及び事業税	10	14
法人税等調整額	92	△18
法人税等合計	102	△4
中間純利益	279	44
親会社株主に帰属する中間純利益	279	44

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年６月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年６月30日）
中間純利益	279	44
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△234	－
為替換算調整勘定	△77	12
その他の包括利益合計	△312	12
中間包括利益	△32	56
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	△32	56

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年６月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	382	40
減価償却費	125	148
減損損失	0	－
投資有価証券売却損益（△は益）	△347	－
受取補償金	△14	－
返金負債の増減額（△は減少）	△2	△8
賞与引当金の増減額（△は減少）	△125	△132
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	14	14
転貸損失引当金の増減額（△は減少）	△5	△5
移設撤去費用等引当金の増減額(△は減少)	△19	－
受取利息及び受取配当金	△7	△13
助成金収入	△3	△1
受取保険金	△1	－
支払利息	3	1
為替差損益（△は益）	0	△0
売上債権の増減額（△は増加）	665	534
棚卸資産の増減額（△は増加）	△299	△286
仕入債務の増減額（△は減少）	52	41
未払費用の増減額（△は減少）	△122	△120
未払金の増減額（△は減少）	△319	△296
未払又は未収消費税等の増減額	23	△85
その他	56	106
小計	55	△61
利息及び配当金の受取額	8	14
利息の支払額	△3	△1
補償金の受取額	14	－
助成金の受取額	3	1
保険金の受取額	1	－
法人税等の支払額	△17	△18
営業活動によるキャッシュ・フロー	61	△66
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	－	△500
有形固定資産の取得による支出	△148	△184
無形固定資産の取得による支出	△2	△1
投資有価証券の売却による収入	447	－
投資活動によるキャッシュ・フロー	295	△685
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△673	△673
リース債務の返済による支出	△11	△16
配当金の支払額	－	△165
その他	－	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△684	△853
現金及び現金同等物に係る換算差額	△65	15
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△392	△1,589
現金及び現金同等物の期首残高	4,532	4,256
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,139	2,666

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

Ⅰ　前中間連結会計期間（自　2025年１月１日　至　2025年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計	調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	医薬品事業	感染管理事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	2,206	203	2	2,412	－	2,412
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	2,206	203	2	2,412	－	2,412
セグメント利益又はセグメント損失（△）	601	△151	△7	443	△396	46

（注）１．セグメント利益又はセグメント損失（△）の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

２．セグメント利益又はセグメント損失（△）は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「感染管理事業」セグメントにおいて、回収可能性が認められないと判断した固定資産を減損損失として計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当中間連結会計期間において０百万円であります。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自　2026年１月１日　至　2026年６月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計	調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	医薬品事業	感染管理事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	2,523	111	2	2,636	－	2,636
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	2,523	111	2	2,636	－	2,636
セグメント利益又はセグメント損失（△）	557	△92	△14	450	△433	17

（注）１．セグメント利益又はセグメント損失（△）の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

２．セグメント利益又はセグメント損失（△）は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2026年３月27日開催の第80回定時株主総会の決議により、2026年３月30日付で別途積立金7,860百万円を取崩し繰越利益剰余金に振替えております。

なお、株主資本の合計金額には、著しい変動はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。